

会議名	令和4年度 第2回 七尾市健康福祉審議会 高齢者福祉分科会
開催日時	令和5年2月2日(木) 午後2時～午後3時20分
開催場所	パトリア3階 七尾市役所 健康福祉部 会議室3
出席委員	荒川委員、飯田伸委員、池野委員、石垣委員、圓山委員、石川委員、北山委員 佐野委員、竹本委員、津田委員、坪野委員、橋本委員、芳原委員 計13名
事務局	高齢者支援課：裕課長、春木補佐、松下補佐、杉吉、岡崎、西野 健康推進課：山崎 福祉課：原田参事

**報告・内容など**

事務局(課長)	会議資料確認 委員の出席状況(15名中13名の出席)
---------	-------------------------------

**開会**

事務局(課長)	開会のあいさつ(課長・圓山会長)
---------	------------------

**1. 説明・報告事項 令和4年度 介護保険事業計画・老人福祉計画の事業実績報告**

<p><b>第1節 介護予防の推進について</b>  <b>第2節 生活支援の充実について</b>  <b>第3節 住まい・生活環境の整備について</b>  <b>第4節 在宅医療・介護連携の推進について</b>  <b>第5節 介護サービスの充実・円滑な運営について</b>  <b>第6節 認知症施策の推進について</b>  <b>第7節 権利擁護の推進について</b></p>	
事務局	【第1節から第7節について説明】
委員	9ページですが、第2節の見守り体制の充実のところ、避難行動要支援者名簿を活用した見守りとはどのようなことをされているかの確認と、災害が発生し、また災害が発生する恐れがある場合に自ら避難することが困難な人に対して、地域住民とともに避難の支援や安否の確認等を行う制度ということですが、登録者が住んでいる地域の町会長とか民生委員が協力しながら、災害発生時に避難体制を整える制度ではありますが、訓練やシミュレーションはされているのか。それとも人数が少ないのでしていないのか。
事務局	この制度は75歳以上の高齢世帯、要介護3、4、5以上の方、あとは障害者で療育手帳や身体障害者手帳等をお持ちの方などの対象者がいます。 確かに登録率は低い状況にあります。今年度、民生委員児童委員が12月で改選になったこともあり、民生委員の地区定例会に伺わせていただき、高齢者支援課が持っている高齢者世帯台帳への登録のお願いと避難行動要支援者台帳への登録のお願いにまわっています。

	<p>その台帳が実際にどう活用されるかが現在の課題であり、市としては今度、地区町会連合会の方にこの避難行動要支援者名簿登録の住民への呼びかけを今予定しているところです。</p> <p>災害時になると民生委員だけでは対象者を救うことができないので、町ぐるみでまずそういった取り組みをしていただきたいという願いを併せてしています。町会や地区単位で防災訓練をする時にはこの台帳の活用をお願いしています。</p>
委員	<p>24ページの認知症高齢者 SOS ネットワーク事業について、事前登録者数は24名となっています。この事前登録はどのような判断で登録しているのか。例えば各民生委員からなのか、それとも家族の方なのか教えてください。</p>
事務局	<p>認知症高齢者の中でも、例えば徘徊や行方不明になる恐れのある方に登録を強くお勧めしています。認知症の方がすべて徘徊するわけではないので、そういった傾向がある方は事前登録して欲しいとお願いしています。</p> <p>例えばケアマネジャーや民生委員から繋いでいただいたり、またご家族が相談して下さる中でこういった制度の説明をし、事前登録をしていただきたいとお願いしております。</p> <p>実際に行方不明になられた場合には、協力事業所に情報提供させていただくという同意も得た上での登録になります。登録しますと、QR コードのシールを例えば服ですとか、持ち物に張り付けていただき、見かけた市民の方がスマートフォンでその QR コードを読み取ったら、そのご家族支援者と連絡取れるという「どこシル伝言板」という制度も昨年度導入しています。</p> <p>対象者になりそうな方は、ぜひ登録していただきたいということと併せて、GPS サービスの登録もお願いしております。</p> <p>行方不明になると、どうしても GPS がないと発見できないという状況があります。地域の方の見守りと、こういった制度の活用で認知症高齢者の見守りをしていくという体制をとっています。</p>
委員	<p>16ページの在宅医療・介護に関する普及啓発の中に出前講座とありますが、実際にはどのように活用されているか。</p>
事務局	<p>昨年度、在宅医療介護連携推進協議会の協力です「まいのーと」を作りました。今年度はまだ普及という段階です。</p> <p>出前講座でこの「まいのーと」を持っていき、自分に何かあった時のために、「自分の思いを先に伝えておくことが大事だよ」というような啓発からやっています。活用事例は、まだこちらの方には報告はない状況ですが、出前講座に持って行き周知しています。</p>
委員	<p>1ページの市老人クラブ連合会が実施するスポーツ大会の支援についてです。</p> <p>ゲートボール大会は、令和4年度で一応終了ということになります。</p> <p>令和5年2月17日に市総合体育館で、ニュースポーツ普及講座を実施し、令和5年度はゲートボールにかわるスポーツに変更していく予定です。老人クラブ連合会5月の総会には決まると思います。あらかじめお知らせしておきます。</p>
事務局	<p>市老人クラブ連合会事務局から、令和4年度はゲートボール大会をやめ、ニュースポーツ講習会に切り替えて実施することをお聞きしています。資料欄外にも注釈にて記載しております。</p>
委員	<p>ニュースポーツは、ボウリングのように棒を倒す競技ですか。</p>

委員	案として上がっているのは輪投げです。会員も高齢化し、会員数も減少しています。いかにして参加できる取り組みを皆さんに提供することができるか、今模索中です。
委員	認知症やフレイルなど衰えにより要介護になる。ドミノ倒しに例えるとしたら、その1枚目1番目のドミノというのは要するに社会性が無くなることなので、ぜひ皆さんが出かけて、他の方とお話ししたり、競技したりできるような環境を整えば良いと思います。
委員	24ページの「ほっとけんステーション」ですが、私も以前関わっていたが、令和元年度から32か所、40か所、38か所、35か所と減っています。その減っている理由として、おそらく、施設がなくなったり、薬局がなくなったりだと思いますが、増えている薬局もあります。新しい薬局には登録を推奨してもいいと思いますが、他に何か理由はありますか。
事務局	昨年度は急に閉鎖する病院や薬局があり、「ほっとけんステーション」は減っていますが、今また増やすように努力していきます。また商工会議所とも連携し、認知症の方にやさしいまちプロジェクトも実施します。そういうかたちで幅広く事業所の方にも認知症への理解を進めるとか、対応の仕方についての研修会も3月に、地域包括支援センター主導で予定しています。薬局も新しく増えたところに声かけしていきます。
委員	3ページですが、シルバー人材センターへの支援は具体的にどんな支援をなさっているのか。
事務局	シルバー人材センターの支援につきましては、運営費にかかる補助金を出していることと、センターが行うイベントの周知などを行っております。そういった形での支援になります。
委員	シルバーの会員の方にできればアンケートをとっていただいて、やって楽しかったこと、困ったことなど具体的に拾い上げて、楽しかったことについては、今後シルバーに入会していただく方にこんな楽しいことあるよ、こんないいことあるよと啓蒙活動して頂ければいいですし、困ったこと等についてはそちらの方で、できるだけ解決して頂いたら、もっと広がるのではないかと思いますので、ぜひお願いしたいと思います。
委員	9ページの地域包括支援センターの出張相談が12月末現在で56回実施したとのことでしたが、そのうちの40数件相談があったということだが、困りごとの相談があったときに、どのように解決できたのか、できないことがあったのかどうかを知りたい。
事務局	内容は、例えば介護保険の制度で説明すれば分かるような相談もあります。また、ご家族のお世話する上での介護負担などの相談もあります。地域包括支援センターと在宅介護支援センターの職員が交互に行っているので、ご相談があった場合は、ケア会議をすとか、認定の申請が必要な方には認定申請に繋げる等、個別の対応をしています。 基本的に解決するまで関わっていくという対応です。また、ゴミ捨てなど生活支援の相談があった場合は、民生委員や町会長にもご相談させていただき、ゴミ出し支援についてケア会議をするということもあります。実際にそれが解決に結びついている事例もあります。
委員	12ページの徘徊高齢者家族支援（GPSサービス初期導入費用助成）が2人とのことだが、軽度の認知症でも徘徊する方や、徘徊で困る方はもっているのではないかと。 制度の周知は十分できているのか。QRコードを読み取る話もあったが、もたもたと歩いている人を追いながら、基本的にはできないことが多いと思う。周知して事前にGPSを持っていればい

	<p>と思います。それで助かった高齢者の事例もあります。年間におそらく1万人くらいは行方不明になって、どこかで亡くなっています。</p>
委員	<p>25 ページの認知症カフェについて、コロナで何処も活動してないと思っていたが、2 か月に 1 回行っているところがあるとのことでした。上手にやれているわけなので、カフェを開催し、その後の感染者も増えなかったということで、その感染対策について、周知できないか。</p> <p>例えば、徳田のカフェでも本当に百何十人集まるが、我慢してやめている。社会性がなくなることで本当に要介護が進む第一歩なので、コロナでも出歩けない高齢者の方が沢山いて、認知症も進むし、体も弱るといことが今すぐ進んでいるはず。ぜひ、周知してどんどんやってほしいです。</p>
事務局	<p>認知症カフェは、地域包括支援センターが 2 か月に 1 回、花嫁のれん館の向かいで開催しています。今度、花王さんの協力で手洗いの実践と感染対策の勉強もしながら開催する予定です。地域の通いの場では約 9 割が活動再開しております。専門職の先生のご協力を得て、感染対策をしながらの介護予防活動に向けた講座をしています。そういったことを継続的にやって行きたいと思っています。</p>
委員	<p>認知症のケアの研修会は結構ありますが、主に在宅の認知症に対してのケアが多いと思います。施設内での認知症のケアも入れてもらいたいと思います。施設内でも認知症の対応について苦慮している部分もあると思います。それは中々外に出して話す機会が少なく、研修もどちらかという在宅の事例が多いと思います。場合によっては、施設内で認知症の方の対応のケースの研修とか、そういうのがあったらいいなと思います。</p>
事務局	<p>事業者連絡会などで、そういったテーマを提示し、実施していただければと思います。</p>
委員	<p>19 ページの認定者数の実績で 9 月末現在ですよね。これからかなり増えると思うが、残り 2 か月で大体どんな感じに落ち着くのか予測つかないですか。親族も、冬場に要介護 1 から 3 になった。冬場、特に 11 月、12 月、1 月の寒い時に、病院に入院したり、色んなことがあつたりする人が結構いると聞きます。そういう中で、自宅で介護できないし、介護施設が待ちの状態になっていると聞きます。そういう中で、認定者数はまた上がるのではないかと思います。大体の数字で、実際はこれより下回ることはないと思うが、見込みを教えてください。</p>
事務局	<p>実績の数値は 9 月末現在で切り取った認定者数です。その後、重度になる方がいれば骨折などが軽快して軽くなる方もいる。表の 4 か年の動きのとおり、急に増えるということはないと思います。ただし、冬場に増加傾向になることは申し添えておきます。</p>

## 2. その他 七尾市あったかプラン策定にかかる取組状況について

- 1 日常生活圏域ニーズ調査
- 2 在宅介護実態調査
- 3 介護サービス事業所アンケート

事務局	【説明】
委員	調査の期間はいつからか。
事務局	<p>1 の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は今実施中です。1 月下旬に対象者に郵送し、2 月下旬を締め切りとして実施中です。</p> <p>2 の在宅介護実態調査は、1 月中旬から開始し、4 月末までの訪問調査の際に実施を予定しています。</p> <p>3 の介護サービス事業所アンケートは、1 月 13 日に事業者連絡会にて各事業所に説明し、同日配布または郵送をしています。2 月 10 日締め切りで随時集計を行っていく予定です。</p>

### 3. 連絡事項

事務局	<p>令和 5 年度の分科会の開催予定について、次年度は第 9 期事業計画策定のため、4 回の開催を予定しております。第 1 回目は 7 月頃を予定しておりますので、よろしくお願いします。</p> <p>来週の 2 月 8 日水曜日に開催される事業の紹介です。</p> <p>地域包括ケアを進めるため、高齢者の介護予防や支え合いの取り組みをさらに進めるため、タウンミーティング（対話集会）を開催します。</p> <p>老人クラブを含む通いの場の参加者や運営者、地区社協の方、健康まちづくり推進員など地域の方々にお集まりをいただく予定です。講演会や活動紹介がありますので、お時間の許す方のご参加をお願いしたいと思います。</p> <p>市として、地域包括ケアを進めるためにさまざまな取り組みを行っております。それぞれの所属もしくは団体において、今後ご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。</p>
-----	--

### 閉会

石川副会長 閉会あいさつ 終了